



市政報告

目次

表面

- 一進一退の中でも
- 令和3年6月定例会
一般質問要旨(抜粋)
 - 新型コロナワクチン接種について
 - 地域の防災について

裏面

- 観光政策について
- 越後石山駅の
バリアフリー化に向けて
- 9月定例会にて
補正予算106億7千万円が
採決されました

一進一退の中でも

新型コロナウイルス感染症の収束に向け、新潟市はワクチン接種の加速を全庁一丸となつて進めてきました。

一方、県の特別警報により、時短営業で飲食関連事業者はまた窮地に立たされました。さらに9月には市立施設も休館となり、様々な活動が制限されました。シニアの方は元気の源となる外出や交流の機会が減り、学校行事や部活動大会の延期等、スケジュール調整に迫られたご家庭もあつたと承知しております。

様々な事情によりワクチン接種を選択せず、周りの接種が進むことを待っている方々の声も伺いました。希望する方が接種を早く完了させることで、色々な立場の方を感染から守れると考えます。集団接種会場も追加され、遅い時間帯にも対応し、今は若い世代の皆さんが連日ワクチン接種をされています。引き続き感染対策を施した上で、昨年は我慢していた忘新年会の開催にも今年は期待が高まります。

市民の健康保持と経済の回復の為に、引き続き取り組んでいきます。



アルビレックス新潟の早川史哉選手のパネルを市役所本館等に設置し、ワクチン接種を促しています。

令和3年6月定例会 一般質問要旨(抜粋)

新型コロナワクチン接種について

【質問(荒井)】 企業集積地や工業団地などの会館が集団接種会場になれば、終業後や仕事の合間に接種が可能となり効率が良い。東区には卸団地や木工団地など住宅地から近い企業集積地もあり、近隣住民も利用しやすいと考えるが所見を伺う。

【答弁(中原市長)】 64歳以下の接種が本格化していく中、仕事をする人たちが接種しやすい環境づくりとして有効であると思われ、今後の接種体制を構築していくなかで検討していく。

【その後】 9月13日から卸団地の「NOCプラザ」が集団接種会場となり、現役世代、近隣住民など多くの人が接種に訪れている。

【質問(荒井)】 全国的にあらゆる施設(空港、競馬場、スタジアムなど)を使いスピード勝負に挑んでいる事例が見られる。本市にも、新潟空港、新潟競馬場、デンカビッグスワンスタジアム、ハードオフエコスタジアム新潟などがあるが、大規模接種会場に使つてはどうか。

【答弁(中原市長)】 他都市でも大規模施設が接種会場として活用されていることから、本市においても有用であると認識している。今後の接種に向けて設置の可能性について検討していく。

【その後】 7月28日から「新潟空港」は大規模接種センターとしてワクチン接種を行っている。「デンカビッグスワンスタジアム」においても、県とアルビレックス新潟により、7月11日のホームゲーム前を皮切りに大規模接種会場として実施された。

【質問(荒井)】 医療的ケア児は、人工呼吸器を使ったり、胃にチューブで栄養を送ったりするなど、医療的なケアが日常的に必要となり家族が付き添って世話をしている。感染のリスクを回避するために、今回の本市独自の優先接種の中に、医療的ケア児とともに家族も含めはどうか。

【答弁(野島保健衛生部長)】 医療的ケア児は、基礎疾患のある人として、64歳以下の中でも最も順位が高い。日々ケアに当たる家族も一緒に接種することで、感染のリスクを小さくできると考え、本市においては、子供と同時期の接種を可能とし、周知を図っていく。

一般質問要旨(抜粋)

患のある人として、64歳以下の中でも最も順位が高い。日々ケアに当たる家族も一緒に接種することで、感染のリスクを小さくできると考え、本市においては、子供と同時期の接種を可能とし、周知を図っていく。

地域の防災について

【質問(荒井)】 警戒レベル3の「高齢者等避難」や、「警戒レベル4までに必ず避難」など今回の避難情報の変更に伴い、早めの避難行動を心掛ける人が多くなると思われるが、避難所は密を避けるためにスペースの確保も必要である。避難所や避難場所が現状で足りているか。さらに確保する必要があるか。

【答弁(樋口危機管理防災局長)】 本市の想定避難者数は、被害想定が最大となる条件での試算で約15万9千人となる。これに対して指定避難所の1人あたりのスペースを従来の2倍となる4㎡とした場合でも市全体で必要な避難スペース確保は可能である。さらに補助的な避難所として公民館など新たに合計43施設を確保している。

警戒レベル		新たな避難情報等	
5		きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保	
<警戒レベル4までに必ず避難!>			
4		ひなんしじ 避難指示	
3		こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難	
2		大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	
1		早期注意情報 (気象庁)	

観光政策について

■質問(荒井) 国内のMICE(会議、イベント等)において、本市はこれまでの実績や、観光コンベンション協会による開催補助金などで、他都市より先行していたが、コロナによりこの流れが途切れていないか、現状と今後の対策について伺う。

■答弁(上村観光・国際交流部長) 昨年度のMICE開催件数は18件で、コロナ前の平成30年度の250件から大きく減少し、厳しい状況である。本市の拠点性向上や経済活性化にMICEは不可欠であり、中長期的な視点で積極的に誘致活動を展開していく。



越後石山駅のバリアフリー化に向けて

■質問(荒井) 越後石山駅東口駅前広場周辺整備事業が、令和2年度よりついに予算化されバリアフリー化に向けて本格的な調査、設計、協議に入り、毎年予算もつき確実に前進していることには感謝している。地域への説明会も実施してはどうか。



■答弁(石井東区長) 今後は段階的な説明を予定しており、まずは基本的な構造の最適案がまとまった段階で開催したい。

■再質問(荒井) それはいつ頃になるのか。

■答弁(石井東区長) 9月までには開催したいと考えている。

■その後 9月16日に開催が決まったが、市立施設の休館に伴い10月21日に延期となった。

■質問(荒井) 越後石山駅の周りは、霊験あらたかな石山諏訪神社、四季折々の花が咲く園芸センター記念公園、六體地藏尊が祀られている招魂所山があり、緑に囲まれた静謐な佇まいである。

駅舎は過度に華美にする必要は感じないが、

周囲と調和し利用者や住民が親しみを感じ利用したくなるものが好ましいと思われる。一方、斬新なデザインを好まれたり、逆にスタンダードなタイプを好む人もいると思われる。どのような駅舎が好まれるのか調査をしてはどうか。



■答弁(石井東区長) 外観やデザインについて、いくつかの案を作成し、地域の皆様との意見交換やアンケートを行いながら検討を進めたい。

■質問(荒井) かねてより地域では駅周辺への交番設置の要望があつたが、近くの山二ッ交番が老朽化により撤去されてからは、さらに不安も募っている。駅の整備に伴い、より安全に住みやすいまちへ交番設置について所見を伺う。

■答弁(石井東区長) 石山地域の4つのコミュニティ協議会(南中野山、江南、中野山、東中野山小学校区コミ協)が平成25年度から県警察へ継続して要望しており、区としても設置の必要性を考えていることから、東警察へ伝え、状況確認をしている。



春にはしだれ桜が人気の園芸センター記念公園(駅西口ロータリーに隣接)。奥にはホームに入ってきた電車も。

9月定例会にて補正予算106億7千万円が採決されました

注目される事業

コロナ感染症対策、疲弊する経済支援、子育て支援事業等が行われます!

「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業」..... 33億円

集団接種会場の設営・運営に係る業務委託や、医療従事者を確保



「感染症発生動向調査事業」..... 4億8,500万円

行政検査にかかる費用を増額

「新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」..... 25億8,000円

(第3期・第4期分)

時短営業に協力した事業者へ支給

「飲食関連事業者応援事業」..... 2億4,000万円

県の事業継続支援金の交付決定を受けた

市内事業者へ10万円支給

「Oh!弁当で地域のお店応援事業」..... 1億5,000万円

弁当代(3千円以上)の半額を補助(5個以上、個人も対象に)

「宿泊おかわりキャンペーン事業」..... 2,300万円

西蒲区の温泉(岩室など)で次回以降使えるクーポン券1万円の抽選

「低所得の子育て世帯生活応援事業」..... 3,860万円

一世帯あたり10kgの新潟市産米を支給



「避難所における感染症対策事業」..... 1,200万円

携帯トイレの備蓄を拡充

「男性の育児休業取得促進事業」..... 1,000万円

奨励金の不足分を増額



「宿泊事業者緊急支援事業」..... 9,500万円

「旅行事業者緊急支援事業」..... 2,000万円

「観光バス事業者緊急支援事業」..... 2,180万円

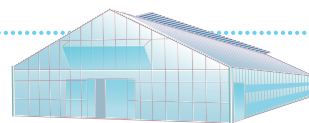


「バス・タクシー事業者緊急支援事業」..... 1億3,550万円

「スクール・サポート・スタッフ配置事業」..... 1億1,680万円

「電子図書館事業」..... 2,000万円

「スマート農業導入支援事業」..... 1億円



「DX人材育成支援事業」..... 1,320万円

「ITソリューション補助金」..... 4,000万円

また、旧小針野球場などの売却収入17億円余りが、(市の貯金にあたる)財政調整基金に積み立てられました。



半世紀に渡り名勝負の舞台となった小針野球場は、15億5千万円で売却された。

発行者 新潟市議会議員 荒井宏幸

所属

翔政会(総務会長)
文教経済常任委員会
広域観光交流促進調査特別委員会
阿賀北広域組合議会(議会運営委員長)

事務所

〒950-0852 新潟市東区石山3-6-12
TEL・FAX.025-286-2535
E-mail:araihiroyuki119@gmail.com

本誌は政務活動費で作成しています。
みなさんからのご意見、ご質問など
お寄せ下さい。